

これからの自法人のあるべき姿を明確にする！

第16回

日本通所ケア研究大会

デイ・デイケア・老健
維持期リハ・小規模多機能
必聴

合同開催 第13回 認知症ケア研修会in福山

地域包括ケアシステム構築に向けた2018年同時改定後のデイの役割

平成30年度は史上初のトリプル計画・ダブル改定！
介護報酬・診療報酬改定の具体策はこうする！

キーワードは…**効果が出せる！**

地域で必要とされ生き残るために必要な7つの具体策

① 介護保険制度・介護報酬制度の完全理解

- ・デイ、デイケアに与える影響
- ・通所系サービスが報酬改定前までにすべきこと
- ・機能別強化策（認知症、リハビリ、中重度者対応）
- ・同時改定後の事業展開、介護ビジネスの展開

⑤ 認知症の方への自立支援

- ・自立支援と家族支援の視点
- ・生活機能向上トレーニングとコミュニケーショントレーニング
- ・中重度認知症の方の自己遂行を促す環境設定の工夫
- ・リスクマネジメント

② 新産業の創出とあるべき医療・介護の実現

- ・生涯現役社会の実現に向けたヘルスケア産業の創出
- ・地域共生型サービスを活用した住民の担い手創出事業
- ・制度依存から抜け出す！保険外サービスの傾向と戦略

⑥ 効果を生み、すぐに実践できるトレーニング

- ・主体性を生み出すバランス訓練、自主トレの工夫
- ・中重度者へ行うトレーニング・ケア（心身機能、生活行為向上）
- ・VAC、コア、骨盤、脳足、BOSSなどの新しいトレーニング
- ・疾患、症状別座位トレーニング

③ リハビリ機能の充実で価値観の革新

- ・維持期リハ、デイケア、地域リハの在り方
- ・「活動」「参加」へとつながるデイの役割
- ・「サルコペニア」「フレイル」の予防と改善
- ・認知症予防のリハビリテーション

⑦ 質の高いサービス・スタッフの定着・確保

- ・職員確保のノウハウと人材が集まる秘訣
- ・効果が出せるデイ、デイケアのシステムづくり
- ・持ち上げない移乗介助とシーティング
- ・現場ですぐに実践できる排泄ケア、ハンドケア、フットケア
- ・看護職と介護職の連携で行う健康チェック、急変時の対応
- ・医療ニーズのある重度者へのかかわりと看取りケア
- ・認知行動療法を活用した対話技法
- ・抑うつ傾向の強い方へのかかわり

④ デイ周辺サービスの現状を知る

- ・地域包括ケア時代の本命事業「小規模多機能」「看護小規模多機能」
- ・地域のかかりつけ老健となるためのシステム・連携
- ・新総合事業、介護予防事業との連携の工夫
- ・リハビリ型サービス付き高齢者住宅&リハビリ型ショートステイ

日程

2017年

11月17日(金)・18日(土)・19日(日)

開催地

広島県福山市

広島県民文化センターふくやま/まなびの館ローズコム/アルセ

参加費

[3日間] 20,000円(税抄録代込み)

[2日間] 15,000円(税抄録代込み)

[1日のみ] 10,000円(税抄録代込み)

その他

日本認知症ケア学会公認

認知症ケア専門士単位認定講座(3単位)

※発表者は4単位

※「デイ周辺サービスの現状と行方セミナー」への単独申し込み、「大会ポストセミナー」への申し込みは別途費用が必要です

全43講座から学べる大会プログラムの詳細はホームページをご覧ください

通所ケア大会

検索

資料請求
お問い合わせ

日本通所ケア研究会事務局 広島県福山市春日町浦上1205

〒721-0902
メール info@tsuusho.com ホームページ <http://www.tsuusho.com/meeting/>

TEL (084) 971-6686


FAX (084) 948-0641

通所ケア大会



検索

大会プログラム

11月17日(金) それぞれのアウトカム(結果・成果)に応じた

広島県民文化センターふくやま				
10:30	特別講演 ① 介護・診療報酬の同時改定が 通所介護・通所リハに与える影響 現在調整中 ※変更になる場合がございます	運営セミナー ① 制度依存から抜け出す! 保険外サービスの傾向と戦略 株式会社ヘルプズ&カンパニー 代表取締役 西村 栄一氏		
12:00	休憩			
13:15	特別講演 ② 次期介護報酬改定& 制度改正の影響と対策 ~デイがすべきこと~ 株式会社風の風 代表取締役 小室 貴之氏	運営セミナー ② リハビリテーション=機能回復訓練だけではない! 「活動」「参加」へとつながる デイサービス・デイケアの役割 医療法人社団 永生会法人本部 リハビリ統括管理部長 部長補佐 荒尾 雅文氏	実技分科会 A デイで人気の集団トレーニング① 利用者がやりたくなるバランス訓練の工夫10種 日本介護エンターテインメント協会 代表 作業療法士 石田 竜生氏	実技分科会 B 集団体操やマシントレーニングが 困難な要介護3~5の方へ行う 個別機能訓練Iの実践 合同会社松本リハビリ研究所 所長 理学療法士 松本 健史氏
15:15	休憩			
16:00	特別講演 ③ 2018年以降の 外来リハ・通所リハ・地域リハの 在り方 一般社団法人日本作業療法士協会 会長 中村 春基氏	運営セミナー ③ サ高住入居者獲得の新常識! リハビリ型サ高住&リハビリショート の運営の工夫とデイに与える影響 ありがとうリハビリハウス 管理者 黒澤 優子氏	実技分科会 C デイで人気の集団トレーニング② 自宅での活動量が増える自主トレの工夫10種 日本介護エンターテインメント協会 代表 作業療法士 石田 竜生氏	実技分科会 D 要介護3~5の方の生活行為向上につながる リハビリテーション・個別機能訓練IIの実践 合同会社松本リハビリ研究所 所長 理学療法士 松本 健史氏
18:00	休憩			

11月18日(土)

広島県民文化センターふくやま				
10:00	特別講演 ④ 生涯現役社会の実現に向けて ~ヘルスケア産業創出・福島復興の視点から~ 内閣府 参事官補佐/ 前・経済産業省ヘルスケア産業課 総括係長 野村将揮氏	運営セミナー ④ 職員確保のノウハウ! 職員が集まる秘訣! 社会福祉法人 ウエルガーデン 法人本部 採用企画室 室長 杉本 浩司氏	実技分科会 E 介護職でも実践できる デイで行う効果の高いトレーニング① VACTトレーニングとADL・IADL改善トレーニング 多機能リハビリセンターありがとう 介護福祉士 川原 つくし氏	実技分科会 F 具体的な目標を設定し デイや自宅で継続して意欲的に 取り組める自主トレプログラム 医療法人社団恵正会 中岡内科デイケアそよかぜ 介護福祉士 戸松 洋輔氏
12:00	企業プレゼンテーション			
13:15	特別講演 ⑤ 介護保険制度・介護報酬改定後に 生き残るための介護事業展開・ 介護ビジネスの展開 (介護保険制度と関連分野の激変) 日本通所ケア研究会 会長 妹尾 弘幸氏	運営セミナー ⑤ デイサービス・デイケアの 機能の強化策 リハ・機能訓練・認知症・中重度対応 株式会社ジュネラス 代表取締役 小山 樹氏	実技分科会 I 介護職でも実践できる デイで行う効果の高いトレーニング② コア・骨盤トレーニング NPO法人日本介護福祉教育研修機構 認定講師 / 介護福祉士 馬場 大典氏	実技分科会 J 効果的な機能訓練を実践するために 必要な在宅でのADLアセスメントと トレーニングの実際 合同会社Think Body Japan 代表取締役 / 理学療法士 小幡 匡史氏
15:15	休憩			
16:00		運営セミナー ⑥ 通所リハビリテーションの 効率的・効果的な運営 医療法人寿山会 喜馬病院 リハビリテーション部 課長 光田 尚代氏		実技分科会 M 脳トレと下肢運動を同時に行う 「脳足トレーニング」 ~ご利用者のレベルに合わせた脳足~ 多機能リハビリセンターありがとう 介護士 主任運動指導員 熊田 美奈子氏
18:00	休憩			



11月19日(日)

注意 会場が1・2日目と異なります

アルセ				
10:00	ポストセミナー ① 参加費 (大会参加者) 10,000円 (一般) 15,000円	実技分科会 P 介護現場での 看護職の役割とその技術① 健康チェックのポイント・急変時の対応 など 生活を支える看護士の会 会長 看護師 小林 悦子氏	実技分科会 Q 自立に向けた排泄ケアを 行うための知識と対策 認知症の方の排尿ケア 訪問看護ステーションひまわり 看護師 山口 昌子氏	実技分科会 R 口腔機能の低下は活動の低下に直結! デイでできる新しいプログラム BOSSトレーニングと 認知症高齢者への口腔ケア NPO法人日本介護福祉教育研修機構 認定講師 / 言語聴覚士 城野 香也子氏
12:00	介護保険制度・報酬改定後も 生き残り続ける介護事業展開・ 介護ビジネスの展開 (対応のヒントとなる各種情報の考え方) 日本通所ケア研究会 会長 妹尾 弘幸氏			
13:15	休憩			
15:15	実技分科会 S 介護現場での 看護職の役割とその技術② 医療ニーズのある重度者への関わり・看取りケア など 生活を支える看護士の会 会長 看護師 小林 悦子氏	実技分科会 T 自立に向けた排泄ケアを 行うための知識と対策 認知症の方の排尿ケア 訪問看護ステーションひまわり 看護師 山口 昌子氏	実技分科会 U 口腔機能の低下は活動の低下に直結! デイでできる新しいプログラム BOSSトレーニングと 認知症高齢者への口腔ケア NPO法人日本介護福祉教育研修機構 認定講師 / 言語聴覚士 城野 香也子氏	

介護報酬体系に対応するための全 43 講座


まなびの館ローズコム

<p>認知症ケアセミナー ①</p> <p>認知症の方の自立支援と 家族支援の視点</p> <p>医療法人寿栄会 有馬高原病院 地域包括ケア推進室 認知症サポートセンター センター長 中西 誠司 氏</p>	<p>デイ周辺サービスの現状と行方セミナー ①</p> <p>地域包括ケア時代の本命事業! 看護小規模多機能S小規模多機能型居宅介護などの 定額包括報酬サービスが行う利用者確保と スタッフ育成・黒字運営にするノウハウ</p> <p>特定非営利活動法人 たんがく 理事長 樋口 千恵子 氏</p>	<p>単独でお申し込みの場合 1 講座につき 4,000 円 (税・資料代込) (大会参加者は無料)</p> 
<p>休憩</p>		
<p>認知症ケアセミナー ②</p> <p>認知症の方との コミュニケーション・ トレーニングの方法</p> <p>介護老人保健施設あれんと リハビリテーションセンター センター長 宮内 順子 氏</p>	<p>デイ周辺サービスの現状と行方セミナー ②</p> <p>利用方法の選択で在宅復帰率が向上! 地域のかかりつけ老健となるための システム・連携の工夫</p> <p>介護老人保健施設 せんだんの丘 総括部長 加藤 誠 氏</p>	<p>リハビリテーションセミナー ①</p> <p>「サルコペニア」「フレイル」の予防と改善 ～エビデンスと実践に基づいたリハビリテーション～</p> <p>筑波大学大学院人間総合科学 研究科 生涯発達科学専攻 准教授 山田 実 氏</p> 
<p>休憩</p>		
<p>認知症ケアセミナー ③</p> <p>認知症の方の ADL・IADL訓練の工夫</p> <p>介護老人保健施設あれんと リハビリテーションセンター センター長 宮内 順子 氏</p>	<p>デイ周辺サービスの現状と行方セミナー ③</p> <p>総合事業完全実施のポイント! デイサービスと新総合事業・ 介護予防事業との連携の工夫</p> <p>株式会社C Cube Create 代表取締役 成田 英世 氏</p>	<p>リハビリテーションセミナー ②</p> <p>認知症予防の リハビリテーション</p> <p>森ノ宮医療大学 教授 専門作業療法士(認知症) 松下 太 氏</p>


まなびの館ローズコム


<p>演題発表①</p> <p>現場で使える ちょっとした工夫</p> <p>自立支援・重度化防止の工夫</p>	<p>演題発表②</p> <p>その他の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族の心身負担軽減の取り組み ・地域拠点活動 など 	<p>実技分科会 G</p> <p>持ち上げない移乗介助法の基本 生活の中での姿勢(座り直し)と活動</p> <p>NPO法人日本介護福祉教育研修機構 認定講師 / 理学療法士 野田 和美 氏</p>	<p>実技分科会 H</p> <p>明日から現場で使える!! ハンドケア 普段の介護現場でハンドケアを取り入れよう</p> <p>医療法人社団井上医院通所リハビリテーション デイケアセンター Casa&Vita 介護福祉士 アロマセラピスト 高瀬 保代 氏</p>
<p>企業プレゼンテーション</p>			
<p>演題発表③</p> <p>中・重度者認知症の方への ケアの工夫</p>	<p>演題発表④</p> <p>要支援者への対応の工夫と 介護予防事業の取り組み</p>	<p>実技分科会 K</p> <p>中重度者の動きを促進する シーティング</p> <p>NPO法人日本介護福祉教育研修機構 認定講師 / 理学療法士 野田 和美 氏</p>	<p>実技分科会 L</p> <p>明日から現場で使える!! フットケア 爪切り編</p> <p>医療法人社団井上医院通所リハビリテーション デイケアセンター Casa&Vita 介護福祉士 アロマセラピスト 高瀬 保代 氏</p>
<p>休憩</p>			
<p>演題発表⑤</p> <p>デイ運営の工夫</p> <p>競合デイに勝つための取り組み</p>	<p>運営セミナー ⑦</p> <p>新設される共生型サービス実践のポイント 福祉と地域資源のまるごと活用術 ～行政・企業、福祉がつながって取り組む仕組み～</p> <p>社会福祉法人ひだまり 理事長 永田 かおり 氏</p>	<p>実技分科会 N</p> <p>症状別うまく座れるようになるための トレーニング・リハビリ</p> <p>NPO法人日本介護福祉教育研修機構 認定講師 / 理学療法士 野田 和美 氏</p>	<p>実技分科会 O</p> <p>明日から現場で使える!! フットケア オイルトリートメント編</p> <p>医療法人社団井上医院通所リハビリテーション デイケアセンター Casa&Vita 介護福祉士 アロマセラピスト 高瀬 保代 氏</p>

まなびの館ローズコム


<p>ポストセミナー ②</p> <p>参加費 (大会参加者) 6,000 円 (一般) 10,000 円</p> <p>認知行動療法を活用した ケアと対話技法</p> <p>やる気がない! 抑うつ傾向の強い方への 関わり方</p> <p>福山人間文化学部 心理学科 准教授 谷口 敏淳 氏</p>	<p>認知症ケアセミナー ④</p> <p>デイだけでなく、特養や小規模多機能、 グループホームでも実践できる 中・重度認知症の方の 自己遂行を促す環境設定の工夫</p> <p>医療法人緩和ケアクリニック恵庭 介護部門統括責任者 山下 総司 氏</p> <p>休憩</p>	
	<p>認知症ケアセミナー ⑤</p> <p>デイだけでなく、特養や小規模多機能、 グループホームでも実践できる 中・重度認知症の方への リスクマネジメント</p> <p>医療法人緩和ケアクリニック恵庭 介護部門統括責任者 山下 総司 氏</p>	

特別講演① 11/17 <small>金</small> 10:30~12:00 会場：広島県民文化センターふくやま	テーマ 介護・診療報酬の同時改定が通所介護・通所リハに与える影響 ~2025年に向けて2018年の同時改定は極めて重要な意味を持つ~
	講師 現在調整中
<p>機能訓練を行わないレスパイト（一時預かり）中心のデイサービスなどは基本報酬の引き下げ、通所リハではデイサービスとの役割分担・機能強化の観点からリハビリ専門職の配置促進や早期のリハビリ介入、短時間化を迫られる方向が課題・論点として挙げられています。次回改定は新たな社会保障の枠組みづくりのスタートにすぎません。2021年、2024年には今回とは比較にならない大きな変革・改定が予想されます。本講演では、そのスタートラインに不足することなく立ち、今後も生き残れる通所介護・通所リハとなるためのヒントを介護給付費分科会の最新情報から探ります。</p>	

特別講演② 11/17 <small>金</small> 13:15~15:15 会場：広島県民文化センターふくやま	テーマ 次期介護報酬改定&制度改正の影響と対策 ~デイがすべきこと~
	講師 小室 貴之氏（株式会社楓の風 代表取締役）
<p>2018年の同時改定と共に2021年改正にも対応でき持続可能な通所介護事業について、具体的に「すべきこと」について解説いたします。また、制度改正に対応するためのポイントとなる「適切な収益の確保」「生産性の向上」についても解説いたします。</p>	
講演のポイント <ul style="list-style-type: none"> ・通所介護は「自立支援ケア」の実践の場所！通所に期待される自立支援ケアとアウトカムのあるべき姿とは ・全ての通所介護は個別機能訓練加算Ⅱを算定し、「活動」と「参加」の機能訓練に取り組もう ・ICTやロボットの活用を通じ「業務の効率化」「生産性の向上」を目指そう ・一日滞在型（5-7・7-9）の存在意義は【認知症加算】【中重度者ケア体制加算】が算定できてこそ ・地域連携拠点機能として地域包括ケアに貢献する通所になるための鍵は「ソーシャルワーク」と「PDCA」 	

特別講演③ 11/17 <small>金</small> 16:00~18:00 会場：広島県民文化センターふくやま	テーマ 2018年以降の外来リハ・通所リハ・地域リハの在り方
	講師 中村 春基氏（一般社団法人日本作業療法士協会 会長）
<p>介護給付費分科会、作業療法士協会などの調査結果を基に2018年度以降のそれぞれのリハビリテーションの在り方についてお伝えいたします。</p>	
講演のポイント <ul style="list-style-type: none"> ・国、制度の動向 ・リハビリテーションを取り巻く環境 ・リハビリテーションの現状と課題 ・介護報酬、診療報酬同時改定の内容 ・今後、リハビリ施設、リハビリ従事者に求められること ほか 	

特別講演④ 11/18 <small>土</small> 10:00~12:00 会場：広島県民文化センターふくやま	テーマ 生涯現役社会の実現に向けて ~ヘルスケア産業創出・福島復興の視点から~
	講師 野村 将揮氏（内閣府 参事官補佐 / 前・経済産業省ヘルスケア産業課 総括係長）
<p>民間サービス・製品の創出を所掌する経済産業省では、各省庁と連携しつつ、「高齢となっても健康を維持したまま自分らしく生きることのできる社会」（生涯現役社会）の実現に取り組んでいます。当日は、総括係長としてヘルスケア産業政策の企画立案・実施に従事した経験（たとえば、介護施設等において社会参加や仕事の機会を提供する「仕事付き高齢者向け住宅」（仮称）の社会実装に向けた実証等）と、福島における地域医療・介護体制の整備等を担っている現在の視座から、これまでの取組と今後の展望についてお話しします。</p>	

特別講演⑤ 11/18 <small>土</small> 13:15~15:15 会場：広島県民文化センターふくやま	テーマ 介護保険制度・介護報酬改定後に生き残るための介護事業展開・介護ビジネスの展開 （介護保険制度と関連分野の激変）
	講師 妹尾 弘幸氏（日本通所ケア研究会 会長）
<p>診療報酬、介護報酬、住宅政策、介護保険制度、ヘルスケア、共生社会、地域づくり… 介護と関係分野は今、大きく変化しています。さまざまな変化は広範囲にわたり複雑なために、情報が入りにくく、わかりにくい状況になっています。介護事業の運営に影響を与える関係分野のさまざまな変化をわかりやすくお伝えし、事業運営改善・戦略構築のヒントとします。</p>	
	

デイ周辺サービスの現状と行方セミナー

大会参加者：無料 / セミナーのみ参加：(1 講座)4,000 円

デイ周辺サービスの現状と行方セミナー ① 11/17 金 10:30~12:00	テーマ	地域包括ケア時代の本命事業!看護小規模多機能&小規模多機能型居宅介護などの定額包括報酬サービスが行う利用者確保とスタッフ育成・黒字運営にするノウハウ
	講師	樋口 千恵子氏 (特定非営利活動法人たんがく 理事長)

国の「できる限り在宅で」の流れの中、小規模多機能や看護小規模多機能については「サービスの普及が十分に進んでいない」との認識があり今後一層の普及策がとられることが予想されています。しかし、その状況でも採算が取れない、夜勤スタッフが確保できないと敬遠されがちな定額包括報酬サービス。九州地域で最初の複合型サービス(看護小規模多機能型居宅介護)を始めた「特定非営利活動法人たんがく」による黒字運営にしていけるためのシステム、介護職員と看護職員が一体となって重度者を支えるためのスタッフ育成術、地域における位置付けから地域への溶け込み方までをお伝えします。



デイ周辺サービスの現状と行方セミナー ② 11/17 金 13:15~15:15	テーマ	利用方法の選択で在宅復帰率が向上! 地域のかかりつけ老健となるためのシステム・連携の工夫
	講師	加藤 誠氏 (介護老人保健施設せんだんの丘 総括部長)

老健施設の「在宅復帰機能」と「地域生活継続支援」の機能が地域生活を支えるために一体的に機能するには、様々な資源をマネジメントしなければなりません。また、高齢者が元気なうちにやっておくべきこと、対策をしてそれでも起こってしまう生活障害に対して早期発見・早期改善するために、せんだんの丘が取り組んでいることを紹介いたします。

- 講演のポイント
- ・老健の役割と責任
 - ・本来あるべき生活の支援
 - ・地域への支援と貢献
 - ・施設と地域を結び連携
 - ・本当は老健がやらなければならないこと



デイ周辺サービスの現状と行方セミナー ③ 11/17 金 16:00~18:00	テーマ	総合事業完全実施のポイント! デイサービスと新総合事業・介護予防事業との連携の工夫
	講師	成田 英世氏 (株式会社 C Cube Create 代表取締役)

めまぐるしく変化する保険制度改正や 2025 年に直面する問題に対し、通所系サービスと総合事業を画一的に運営することで、先手必勝の取り組みを先駆けて行っている株式会社 C Cube Create。実際の取り組みから 2025 年問題以降を見越した法人運営で、生き残れる事業所となるためのきっかけをお伝えいたします。

- 講演のポイント
- ・2035 年問題?! 保険制度と人口分布
 - ・通所サービス事業、生き残りの条件
 - ・総合事業の事業展開方法
 - ・デイサービスと総合事業の連携
 - ・運動ボランティア獲得の取り組み



ポストセミナー

ポストセミナー①：【大会参加者】10,000 円 / セミナーのみ参加：15,000 円

ポストセミナー②：【大会参加者】6,000 円 / セミナーのみ参加：10,000 円

ポストセミナー① 11/19 日 10:00~15:15	テーマ	介護保険制度・報酬改定後も生き残り続ける介護事業展開・介護ビジネスの展開 (対応のヒントとなる各種情報の考え方)
	講師	妹尾 弘幸氏 (日本通所ケア研究会 会長)

介護保険は中重度者が中心となり、事業所の新規開設も困難となります。また、未曾有の人材不足の到来の中で各事業所が求められる自立支援・地域連携・中重度の方への対応・多機能運営と介護保険外サービス・職員確保などについての対応のヒントとなる情報、考え方をお伝えいたします。

- 講演のポイント
- ・制度で求められている役割を果たし、自立支援の効果を出す
 - ・地域での効果的、効率的な医療、介護に寄与する連携と協働
 - ・中重度者対応と機能の明確化
 - ・多機能運営と介護保険外サービスへの参入
 - ・職員確保



ポストセミナー② 11/19 日 10:00~15:15	テーマ	認知行動療法を活用したケアと対話技法 やる気がない!抑うつ傾向の強い方への関わり方
	講師	谷口 敏淳氏 (福山大学人間文化学部心理学科 准教授)

認知行動療法は、うつ病だけでなく不眠や身体疾患の予防など、その効果が広く認められてきています。本研修では、その認知行動療法の基本的な部分を理解していただき、抑うつ傾向の方、認知症の方の不安について理解し、そのような状態の方々はどう関わればいいのかを実際のカウンセリングの様子を体感していただきながらお伝えいたします。

- 講演のポイント
- ・決まったプログラムやツールがなくてもケア場面で効果が見込める
 - ・行動が増える時や減る時のルール
 - ・認知とはそもそも何か
 - ・認知行動療法の原則に基づいたアプローチで効果を出す
 - ・気分の落ち込みが生活に支障をきたす人と、長引かない人の違い
 - ・抑うつ傾向の強い方へのアプローチの工夫



リハビリテーションセミナー 1
11/17 13:15~15:15
「サルコペニア」「フレイル」の予防と改善
エビデンスと実践に基づいたリハビリテーション

エビデンスに基づいた実践できる「サルコペニア」「フレイル」対策法

講演内容

- ・地域包括ケア時代における介護予防
- ・介護予防の効果
- ・サルコペニア・フレイルの病態
- ・サルコペニア対策の概要
- ・フレイル対策の概要

山田 実氏
 筑波大学大学院人間総合科学研究科
 生涯発達専攻 准教授

ほか

リハビリテーションセミナー 2
11/17 16:00~18:00
認知症予防のリハビリテーション

高齢者・MCI(軽度認知障害)の方向け認知症予防トレーニング

講演内容

- ・認知症予防
- ・MCIの方へのアプローチ
- ・認知リハビリ
- ・脳科学の視点
- ・エビデンスに基づいた認知症予防トレーニング

松下 太氏
 森ノ宮医療大学 教授
 専門作業療法士(認知症)

ほか

実技分科会 A
11/17 13:15~15:15
デイで人気の集団トレーニング①
利用者がやりたくなるバランス訓練の工夫 10 種

スタッフの意識改革・効果的な動機づけ・目標設定の方法

体験内容

- ・転倒予防トレーニングの効果を UP させる簡単な方法
- ・準備に時間とお金をかけない「100 均トレーニング」
- ・アイデア次第でマンネリ・ネタ切れを防ぐ方法
- ・タオルを使った超簡単で効果抜群なバランストレーニング

石田 竜生氏
 日本介護エンターテインメント協会
 代表 / 作業療法士

実技分科会 B
11/17 13:15~15:15
集団体操やマシントレーニングが困難な
要介護 3~5 の方へ行う個別機能訓練加算Iの実践

基本的な動作(座る・立つ・移るなど)の安定

体験内容

- ・個別機能訓練の基本的な考え方
- ・解剖学、運動学を押さえる
- ・すぐに使える個別機能訓練加算Iの実技
- ・中、重度者の方の効果を出すために知る得ポイント

松本 健史氏
 合同会社松本リハビリ研究所
 所長 / 理学療法士

実技分科会 C
11/17 16:00~18:00
デイで人気の集団トレーニング②
自宅での活動量が増える自主トレの工夫 10 種

自主トレを継続するためのモチベーション up のヒント

体験内容

- ・自宅で活動してもらわないと意味がない
- ・ご利用者が思わず身体を動かしたくなる工夫
- ・身近なモノを使って「最新マシン」と同等の効果を出す方法
- ・「快刺激」を生み出して行動に結び付けよう工夫
- ・A3 用紙 1 枚で想像力の衰えを防ぎ、転倒を予防する一石三鳥なアイデア

石田 竜生氏
 日本介護エンターテインメント協会
 代表 / 作業療法士

実技分科会 D
11/17 16:00~18:00
要介護 3~5 の方の生活行為向上につながる
リハビリテーション・個別機能訓練IIの実践

在宅生活を知ることから始まる

体験内容

- ・居宅訪問のコツ
- ・生活動作を訓練につなげる実践
- ・現場ですぐに実践できる個別機能訓練加算IIのトレーニング
- ・在宅生活での「活動」と「参加」につながる工夫
- ・個別機能訓練加算II=生活行為向上リハ実施加算

松本 健史氏
 合同会社松本リハビリ研究所
 所長 / 理学療法士

実技分科会 E
11/18 10:00~12:00
介護職でも実践できる
デイで行う効果の高いトレーニング①
VAC トレーニングと ADL・IADL 改善トレーニング

身体機能だけでなく、認知・知的機能も高まる一石三鳥プログラム

体験内容

- ・V(ビジョン)A(アテンション)C(コグニション)
- ・VAC は各動作を行うのに重要な機能
- ・各 ADL 体操(食事、排泄、更衣、入浴 など)
- ・各 IADL 体操(洗濯、調理、買い物、掃除 など)
- ・介護職でもできる評価のポイント

川原 つくし氏
 多機能リハビリセンターありがたう
 介護福祉士

ほか

実技分科会 F
11/18 10:00~12:00
具体的な目標を設定しデイや自宅で
継続して意欲的に取り組める自主トレプログラム

「目標設定」「リハビリメニューの自己選択」「リハビリの実施」「自己評価」

体験内容

- ・目標設定→実施→評価の一連の流れの大切さ
- ・セレクトリハビリ導入とポイント
- ・目標を達成できるように支援する方法
- ・プログラムの紹介と実践
- ・しかけづくりの重要性

戸松 洋輔氏
 医療法人社団恵正会 中国内科
 デイケアそよかせ 介護福祉士

ほか

実技分科会 G
11/18 10:00~12:00
持ち上げない移乗介助法の基本
生活の中での姿勢(座り直し)と活動

立ち上がり・移乗のポイント・動き方

体験内容

- ・どこに介助が必要で、どう介助するのか
- ・福祉用具を活用した移乗介助
- ・トランスファーボードを使用した移乗
- ・その他(ビニール袋、スライディングシート)を利用した移乗

野田 和美氏
 NPO 法人日本介護福祉教育研修機構
 認定講師 / 理学療法士

ほか

実技分科会 H
11/18 10:00~12:00
明日から現場で使える!ハンドケア
普段の介護現場でハンドケアを取り入れよう

ご利用者の変化にいち早く気付くためにアンテナ

体験内容

- ・ハンドケアの必要性
- ・手の構造基礎知識
- ・観察のポイント
- ・ケア前の準備
- ・爪切り、ハンドケアの実際

高瀬 保代氏
 医療法人社団井上病院通所リハビリテーション
 デイケアセンター Casa@Vita 介護福祉士
 アロマセラピスト

実技分科会 I
11/18 13:15~15:15
介護職でも実践できる
デイで行う効果の高いトレーニング②
コア・骨盤トレーニング

各動作の基本となる機能を改善

体験内容

- ・骨盤訓練で、筋力増強、可動域改善、転倒予防
- ・臥位、座位、立位での骨盤トレーニング
- ・応用動作トレーニング
- ・体幹トレーニングへの応用
- ・さあ、みんなで明日から実践できるネタを考えよう

馬場 大典氏
 NPO 法人日本介護福祉教育研修機構
 認定講師 / 介護福祉士

実技分科会 J
11/18 13:15~15:15
効果的な機能訓練を実践するために必要な
在宅での ADL アセスメントとトレーニングの実際

即時効果でモチベーションを維持し、成功するリハビリ

体験内容

- ・漏れないアセスメントの工夫
- ・姿勢の大切さ
- ・適切な筋力トレーニング
- ・適切なストレッチ・マッサージ
- ・正しい歩き方と足の姿勢

小幡 匡史氏
 合同会社 Think Body Japan
 代表取締役 / 理学療法士

ほか

運営セミナー 1 11/17 10:30~12:00
制度依存から抜け出す！ 保険外サービスの傾向と戦略

失敗を繰り返しながら成功へ導いた 10 のキーワード

講演内容

- ・ 保険外サービスを始める前に考えること
- ・ 人材育成(保険外サービスへの動機づけ)
- ・ 保険外サービスとまちづくり
- ・ 保険外サービスのコンプライアンス
- ・ 保険外サービスの事例

西村 栄一氏
 株式会社ヘルプス&カンパニー 代表取締役 (ほか)

運営セミナー 2 11/17 13:15~15:15
リハビリテーション＝機能回復訓練だけではない！ 「活動」「参加」へとつながる デイサービス・デイケアの役割

生活期におけるリハビリテーションの整理、通所リハの位置付け

講演内容

- ・ 生活期のリハの整理
- ・ 通所リハの役割
- ・ ICF と活動・参加
- ・ 活動・参加の評価視点の持ち方
- ・ 活動・参加へのアプローチ

荒尾 雅文氏
 医療法人社団 永生会法人本部 リハビリ統括管理部 部長補佐 (ほか)

運営セミナー 3 11/17 16:00~18:00
サ高住入居者獲得の新常識！ リハビリ型サ高住&リハビリショートの 運営の工夫とデイに与える影響

同一建物内でサ高住+ショートステイ

講演内容

- ・ リハビリに特化したサ高住とは(コンセプトはミドルステイ)
- ・ 「自宅に帰りたい」という選択肢としてのサ高住
- ・ リハビリの視点を持ったスタッフの育成
- ・ ご利用者、ご家族の心を掴むリハビリショートでの工夫
- ・ 残存機能を落とさないショートステイでの工夫

黒澤 優子氏
 ありがとうリハビリハウス管理者 (ほか)

運営セミナー 4 11/18 10:00~12:00
職員確保のノウハウ！ 職員が集まる秘訣！

いかに「定着できるか」「離職率を下げられるか」がポイント

講演内容

- ・ 求職者が職場をイメージしやすい仕掛け
- ・ 具体的な取り組み(ケア)を見せるための工夫
- ・ 「リアル」な話で信頼を掴む
- ・ 職員が定着する 5 つの実践(理念の共有、同期意識形成、4 層面談、仕事への誇り、専門職としての責任感の醸成)

杉本 浩司氏
 社会福祉法人ウエルガーデン 法人本部 採用企画室 室長

運営セミナー 5 11/18 13:15~15:15
デイサービス・デイケアの機能の強化策 リハ・機能訓練・認知症・中重度対応

機能分化(自立支援・認知症・中重度)した通所サービスの特徴の出し方

講演内容

- ・ 通所サービスの現状と 30 年改定
- ・ 今後の通所サービスのあり方
- ・ 特化した通所サービスの運営
- ・ 事務業務のムダをどう減らすか
- ・ 次世代に向けてどう変わっていくか？

小山 樹氏
 株式会社ジェネラス 代表取締役 (ほか)

運営セミナー 6 11/18 16:00~18:00
通所リハビリテーションの効率的・効果的な運営

運営管理のポイントをつかみ、魅力あるプログラムをつくる

講演内容

- ・ 同時改定(維持期外来リハ廃止)から求められる通所リハビリの在り方
- ・ 通所リハビリにおける加算と運営について
- ・ 効果的なプログラムの工夫
- ・ 利用者確保のための PR の工夫と病院や施設、居宅介護支援事業所との連携

光田 尚代氏
 医療法人寿山会 善馬病院 リハビリテーション部 課長 (ほか)

運営セミナー 7 11/18 16:00~18:00
新設される共生型サービス実践のポイント 福祉と地域資源のまるごと活用術 ～行政、企業、福祉がつながって取り組む仕組み～

住民・行政・事業者が協働するための仕掛けづくり

講演内容

- ・ 地域共生社会づくりとは？
- ・ 行政、社協、地域コミュニティとの関係を築くためにすべきこと
- ・ 横のつながりを円のつながりに広げていくための工夫
- ・ どのように地域に出ていくのか？
- ・ 地域共生型拠点に必要な人材とは

永田 かおり氏
 社会福祉法人ひだまり 理事長 (ほか)

認知症ケアセミナー 1 11/17 10:30~12:00
認知症の方の自立支援と家族支援の視点

認知症の方の BPSD を「ご本人の困りごと」とする視点の転換を図る

講演内容

- ・ 認知症観の転換
- ・ BPSD を対応方法で考えない
- ・ 支援のための PDS サイクル
- ・ 家族の困りごとをひもとく
- ・ 早期介入のススメ

中西 誠司氏
 医療法人寿栄会 有馬高原病院 地域包括ケア推進室 (ほか)

認知症ケアセミナー 2 11/17 13:15~15:15
認知症の方との コミュニケーション・トレーニングの方法

状態に応じたコミュニケーションのとり方の工夫

講演内容

- ・ 状態に応じたコミュニケーションの取り方の工夫
- ・ 認知症の方のコミュニケーションの特徴
- ・ 認知症の方とコミュニケーションを取る際に注意する事
- ・ 認知症の方とのコミュニケーション・トレーニング方法
- ・ 実際の事例紹介

宮内 順子氏
 介護老人保健施設べあれんと リハビリテーションセンター センター長 (ほか)

認知症ケアセミナー 3 11/17 16:00~18:00
認知症の方の ADL・IADL 訓練の工夫

多職種が専門性を生かしながら支援するための工夫

講演内容

- ・ 認知症の方における生活課題とは？
- ・ 認知症の方の生活課題の洗い出し
- ・ 認知症の方の中核症状と生活課題との関係性を読み解く
- ・ 具体的事例を基に ADL・IADL への介入方法を考える

宮内 順子氏
 介護老人保健施設べあれんと リハビリテーションセンター センター長 (ほか)

認知症ケアセミナー 4 11/19 10:00~12:00
デイだけでなく、特養や小規模多機能、グループホームでも実践できる 中・重度認知症の方の 自己遂行を促す環境設定の工夫

居心地の良い・動きやすい環境のつくり方

講演内容

- ・ 認知症の方の環境づくりに必要な 3 つのキーワード
- ・ 「施設」と「自宅」の違いを考える
- ・ 職員の理解力と実践力を高める
- ・ 活動の幅を広げる職員の視点
- ・ どんな状態の方でも「できる」ことはある

山下 総司氏
 医療法人緩和ケアクリニック恵庭 介護部門統括責任者 (ほか)

認知症ケアセミナー 5 11/19 13:15~15:15
デイだけでなく、特養や小規模多機能、グループホームでも実践できる 中・重度認知症の方へのリスクマネジメント

方法を考えるよりも大切なこととは

講演内容

- ・ 日頃の提供するサービス内容を検証してみる
- ・ 自尊心(嫌なものは嫌だという気持ち)の表れは本人の元気の証
- ・ リスクに対するスタッフの対応と効果
- ・ 自施設でできる考え方と方法を学ぶ
- ・ 中・重度になってもできる限り最小限の支援方法

山下 総司氏
 医療法人緩和ケアクリニック恵庭 介護部門統括責任者

実技分科会 **K**
11/18 ④
13:15~15:15

中重度者の動きを促進するシーティング

ADL 場面における適切なシーティング



野田 和美氏

NPO 法人日本介護福祉教育研修機構
認定講師 / 理学療法士

体験内容

- ・シーティングに必要な視点
- ・動作分析とシーティングの評価
- ・安楽な姿勢を保つシーティング
- ・活動と参加を高めるシーティング
- ・疾患別シーティングの視点

ほか

実技分科会 **M**
11/18 ④
16:00~18:00

脳トレと下肢運動を同時に行う「脳足トレーニング」 ご利用者のレベルに合わせた脳足



熊田 美奈子氏

多機能リハビリセンターありがどう
介護予防主任運動指導員

飽きさせない効果的な仕掛け

体験内容

- ・色んな動きを交えた拮抗体操
- ・音楽を使ったステップ体操
- ・2人1組モノマネ体操
- ・コグニションエクササイズ
- ・楽しく飽きない脳足トレーニングの工夫

ほか

実技分科会 **O**
11/18 ④
16:00~18:00

明日から現場で使える!! フットケア オイルトリートメント編



高瀬 保代氏

医療法人社団井上医院通所リハビリテーション
デイケアセンター Casa&Vita 介護福祉士
アロマセラピスト

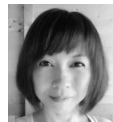
オイルトリートメントを取り入れる効果

体験内容

- ・オイルトリートメントケアの必要性
- ・足の構造基礎知識と観察のポイント
- ・ケア前の準備
- ・オイルトリートメントケアの実際と実技
- ・二人一組で実践しながら細かいポイントの確認説明

実技分科会 **L**
11/18 ④
13:15~15:15

明日から現場で使える!! フットケア 爪切り編



高瀬 保代氏

医療法人社団井上医院通所リハビリテーション
デイケアセンター Casa&Vita 介護福祉士
アロマセラピスト

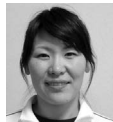
ケアをされる側の体験

体験内容

- ・フットケアの必要性 ・爪の構造基礎知識
- ・観察ポイント ・ケア前の準備
- ・爪切りの実際と実技
- ・二人一組で実践しながら細かいポイントの確認

実技分科会 **N**
11/18 ④
16:00~18:00

症状別うまく座れるようになるための トレーニング・リハビリ



野田 和美氏

NPO 法人日本介護福祉教育研修機構
認定講師 / 理学療法士

体幹を安定させるための方法

体験内容

- ・片麻痺の方の座位トレーニング
- ・片麻痺の方の臥位トレーニング
- ・パーキンソン病の方の座位のための骨盤トレーニング
- ・パーキンソン病の方の座位のための体幹トレーニング
- ・自主トレをしてもらうための工夫

ほか

実技分科会 **Q・T**
11/19 ④
19:00~20:00
13:15~15:15

自立に向けた排泄ケアを行うための知識と対策 認知症の方の排尿ケア ※午前・午後ともに同じ内容



山口 昌子氏

訪問看護ステーションひだまり
看護師

誰でも最後まで排泄は自立していきたい

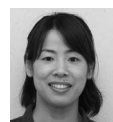
体験内容

- ・排尿の基本知識
- ・排尿に関するエビデンス
- ・残尿を知ることはケアの第一歩
- ・排泄の自立について
- ・医療連携が必要なケース

ほか

実技分科会 **ROU**
11/19 ④
19:00~20:00
13:15~15:15

口腔機能の低下は活動の低下に直結! ※午前・午後ともに同じ内容 デイでできる新しいプログラム BOSSトレーニングと認知症高齢者への口腔ケア



城野 香也子氏

NPO 法人日本介護福祉教育研修機構
認定講師 / 言語聴覚士

口腔機能全般を維持・改善

体験内容

- ・呼吸機能、発声機能低下を防ぐトレーニングの体験
- ・口腔、顔面、嚥下機能低下を防ぐトレーニングの体験
- ・認知症高齢者の口腔衛生状態を良好に保つこと
- ・嫌がらせの口腔ケアと癒しの口腔ケア

実技分科会 **S**
11/19 ④
13:15~15:15

介護現場での看護職の役割とその技術② 医療ニーズのある重度者への関わり・看取りケア など



小林 悦子氏

生活を支える看護士の会
会長 / 看護師

その人らしく「生き残るための看取り援助」

体験内容

- ・重度者の生活を支える私たち
- ・介護現場で働く看護師の心構え
- ・安心して介護できるための準備
- ・人生歴からその人らしさ(想い)を探す
- ・生き残るための「看取り援助」

その他の詳しい内容は
ホームページをご覧ください!!

通所ケア大会 検索

■ 昼食について

- ・会場周辺に飲食店やコンビニなどがございますので、お弁当の販売はいたしません。予めご了承ください。
- ・広島県民文化センターの大ホール内での飲食はできません。

■ 宿泊について

- ・ご自身にて手配をおねがいします。
- ・「宿泊」のご相談がある場合は、旅行取扱業者を斡旋いたします。

■ その他

不明な点がございましたらお手数ですが事務局までお問合せください

第16回日本通所ケア研究大会 [合同開催] 第13回認知症ケア研修会 in 福山
大会参加お申し込み書
 ■書類送付先 ※大会参加証などを送付いたしますので、必要事項に漏れがないようご記入ください。

参加の手続き・申し込み・内容のお問い合わせ
日本通所ケア研究会事務局
 〒720-0902 広島県福山市春日町浦上1205
 TEL (084) 971-6686
 FAX (084) 948-0641
 メール info@tsuusho.com

↑ FAX **084-948-0641** ↑

請求先・書類送付先 (必ずどちらかに○印) 法人・個人	請求先・書類送付先住所	法人名	※請求先・書類送付先が法人の場合のみ記入		
氏名	TEL () () ()	PCメール	FAX () () ()	@	

■参加申し込みについて
 ・プログラムをご参照の上、【特別講演】【運営セミナー】【認知症ケアセミナー】【リハビリテーションセミナー】
 【デイ周辺サービスセミナー】【実技分科会】【一般演題発表】より希望講座を選択してください。
 ※「デイ周辺サービスの現状と行方セミナー」【ポストセミナー】の参加を単独で希望される場合は別途料金が必要となります。
 ・一般演題発表は自由にご聴講いただけます。
 ・その他不明点がございましたら、お手数ですが事務局までお問い合わせください。

大会参加費 [3日間] 20,000円 [2日間] 15,000円 [1日のみ] 10,000円

ディ周辺サービスの現状と行方セミナー <small>【大会参加者】 無料 【単独申し込み】 4,000円 (1講座につき)</small>	ポストセミナー① <small>【大会参加者】 10,000円 (税・資料代込) 【単独申し込み】 15,000円 (税・資料代込)</small>	ポストセミナー② <small>【大会参加者】 6,000円 (税・資料代込) 【単独申し込み】 10,000円 (税・資料代込)</small>
--	---	--

記入例	11/17 (金)			11/18 (土)			11/19 (日)		
	午前の部 10:30~12:00 <small>参加希望講座を記載してください</small>	午後の部① 13:15~15:15 <small>参加希望講座を記載してください</small>	午後の部② 16:00~18:00 <small>参加希望講座を記載してください</small>	午前の部 10:00~12:00 <small>参加希望講座を記載してください</small>	午後の部② 16:00~18:00 <small>参加希望講座を記載してください</small>	午後の部 10:00~12:00 <small>参加希望講座を記載してください</small>	午後の部 13:15~15:15 <small>参加希望講座を記載してください</small>	午後 18:00~	
ふりがな									
参加者名	特別講演①	デイ周辺サービスの現状と行方セミナー②	リハビリテーションセミナー②	運営セミナー④	一般演題発表	実技分科会M			
ふくやま たろう									
福山 太郎									
①									
②									
③									

お申し込みにあたっての注意事項
 ・3名以上でお申し込みの場合は申し込み用紙をコピーしてお使いください。
 ・お申し込み確認後、「入金のご案内」を郵送にてお送りいたします。
 ・お申し込み後、1週間経っても「入金のご案内」が届かない場合は、お手数ですが事務局までご連絡ください。
 ・大会当日にご持参いただく参加券等の書類は、ご入金確認後、10月下旬を目途に送付いたします。
 ・講座内容によっては材料費が別途必要となる場合がございます。その場合は参加券に記載いたします。
 ・「宿泊/交通」等の大会参加に関わるご相談がある場合は、旅行取扱業者を斡旋いたしますのでご相談ください。
 ・「格セミナー」「実技分科会」「ポストセミナー」が定員に達した場合は、ご参加いただけませんので、お早めにお申し込みください。

キャンセルについて
 ※必ずお読みください
 ・キャンセルされる場合は、必ず事務局までお申し出ください。
 ・キャンセルのご連絡がない場合は、100%のキャンセル料をいただきます。
 ・ご入金後の参加費のご返金はできませんが、参加者および申し込み内容の変更、大会抄録・資料などの送付はいたします。

もっと詳しい情報はホームページにてご確認ください
通所ケア大会 検索

DM